

# 野村シュロージャー 欧州ハイ・イールド 債券ファンド

(為替ヘッジあり)年1回決算型 / (為替ヘッジなし)年1回決算型  
(為替ヘッジあり)年4回決算型 / (為替ヘッジなし)年4回決算型

追加型投信 / 海外 / 債券



お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は

**三菱UFJモルガン・スタンレー証券**

商号：三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号  
加入協会：日本証券業協会 / 一般社団法人資産運用業協会 /  
一般社団法人金融先物取引業協会 /  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会 /  
一般社団法人日本STO協会

設定・運用は

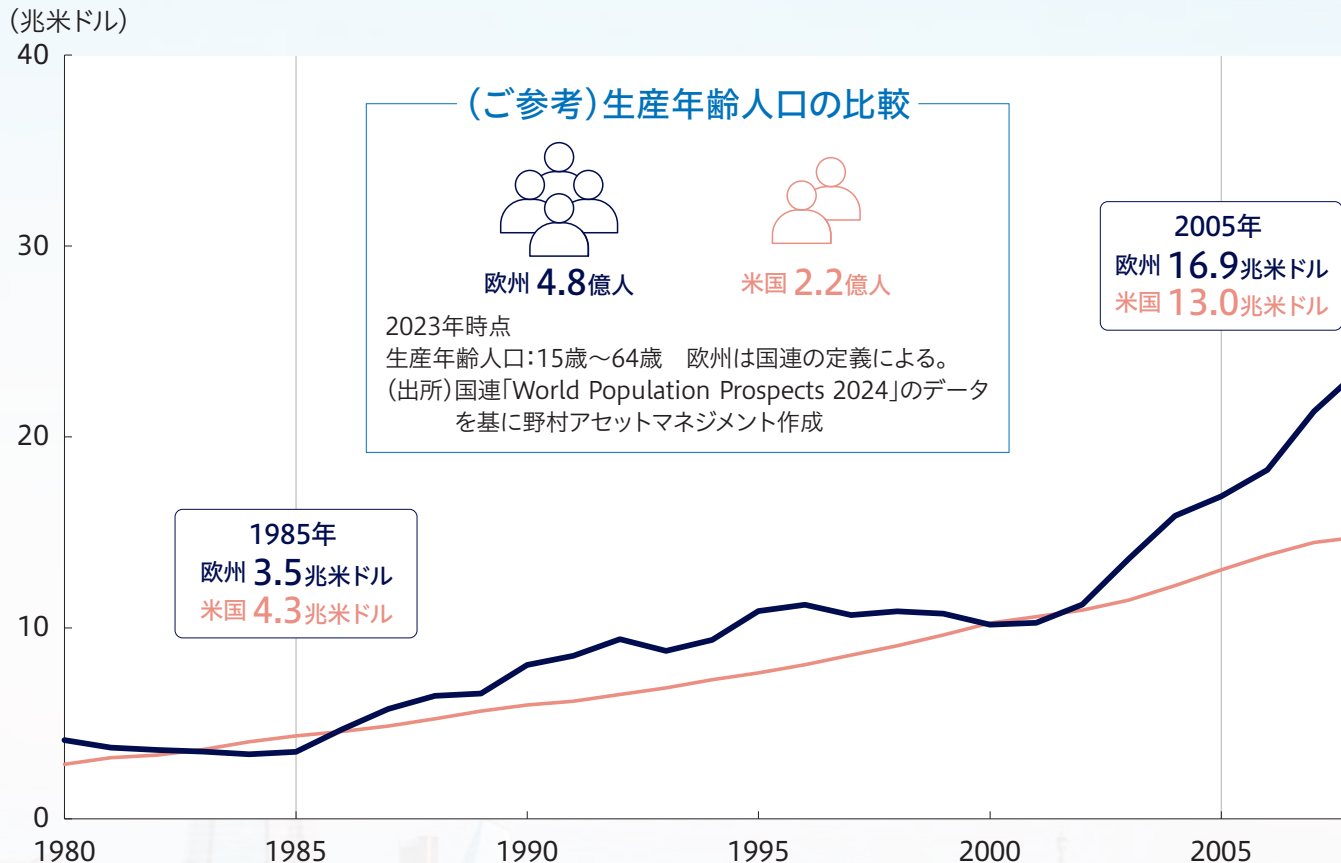
**NOMURA**  
野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会：一般社団法人資産運用業協会 /  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

# 経済規模に即した、欧州への投資を

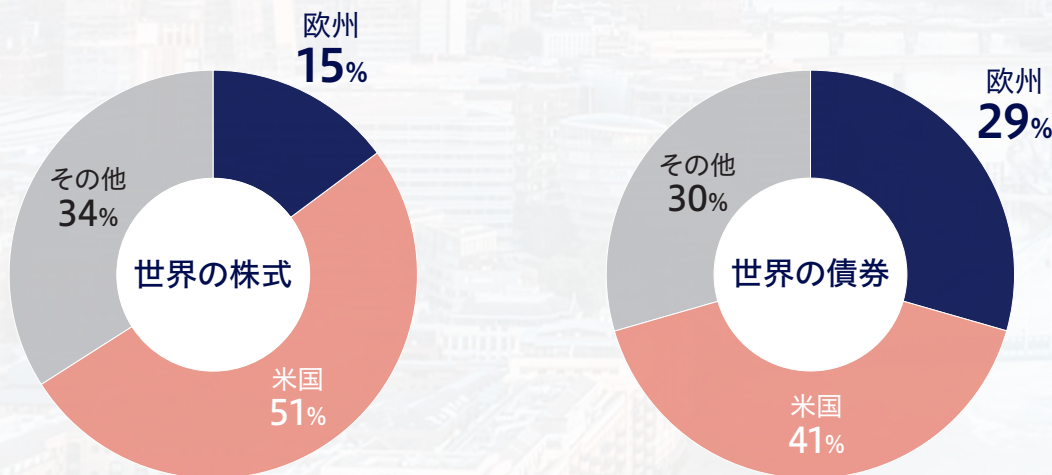
欧州の名目GDPは、長期にわたり米国と並ぶ水準で拡大してきており、一方で、世界の資本市場や日本の投資家において、欧州の存在感はまだ

## ■ 欧州と米国の名目GDP(国内総生産)の推移



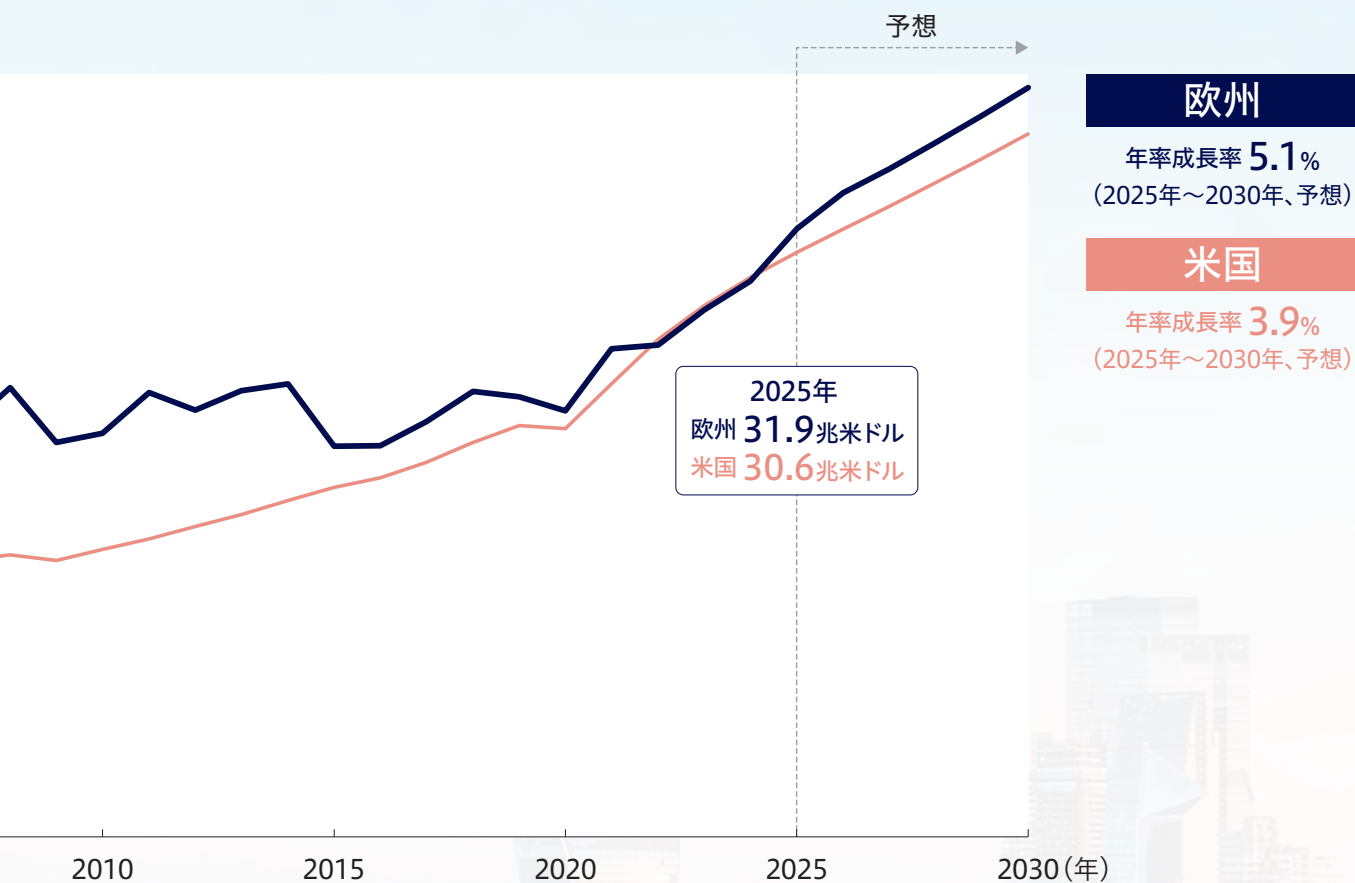
期間:1980年~2030年、年次。2025年以降はIMF予想、2024年以前は一部推定値を含む場合があります。欧州はIMFのEurope (ロシア(出所)IMF「World Economic Outlook Database, October 2025」のデータを基に野村アセットマネジメント作成

## ■ 世界の株式と債券における欧州の割合



2026年2月末時点、米ドルベース、世界の株式と世界の債券の指数構成銘柄の時価総額ベース  
使用指数については、17ページをご参照ください。  
(出所)ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

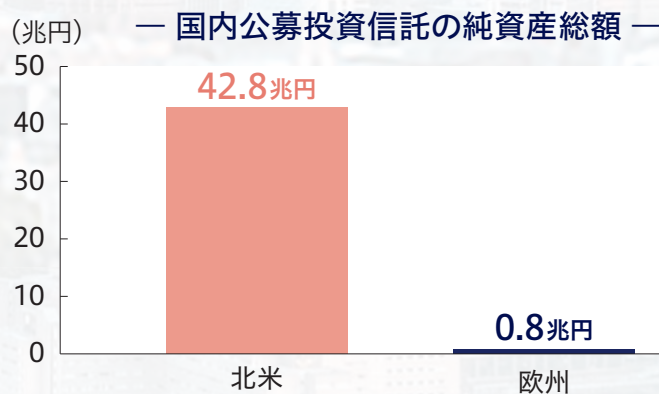
今後も世界経済の中核として成長が見込まれています。  
小さいと考えられます。



や周辺諸国を含む)の定義による。

## 国内投信の純資産総額～投資対象地域別～

国内公募投資信託の投資対象地域別の純資産総額を見ると、北米が大半を占めており、欧州への投資は限定的となっています。



2026年3月末時点、ETF、DCを含む

「野村総合研究所 Fundmark/DL」を出所として算出したデータに関連する記載につきまして、野村総合研究所では、ご質問、ご確認、ご要望、クレーム等への対応を行いません。

(出所)野村総合研究所 Fundmark/DL のデータを基に野村アセットマネジメント作成

## 米国に偏ったポートフォリオに、欧州という選択肢

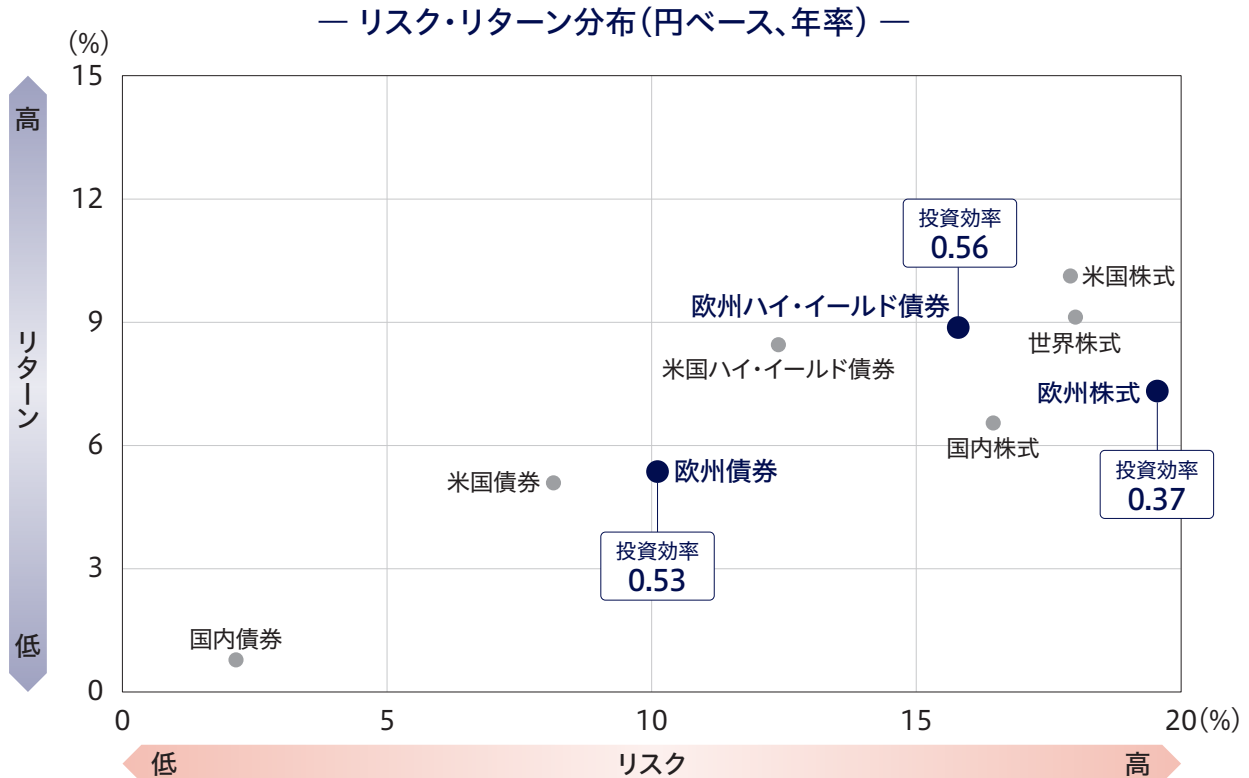
を示唆あるいは保証するものではありません。

# 欧州への資産分散を行なう新たな選択肢

## ～欧州ハイ・イールド債券～

### ■ リスク・リターン分布からみる「欧州」への投資機会

■ 欧州ハイ・イールド債券のリスク・リターン分布を見ると、下記のグラフの期間においては欧州株式に比べリスクは低く、リターンは高いことが確認できます。また、他の欧州資産に比べ投資効率が高い結果となりました。（投資効率はリターン÷リスクにて算出）



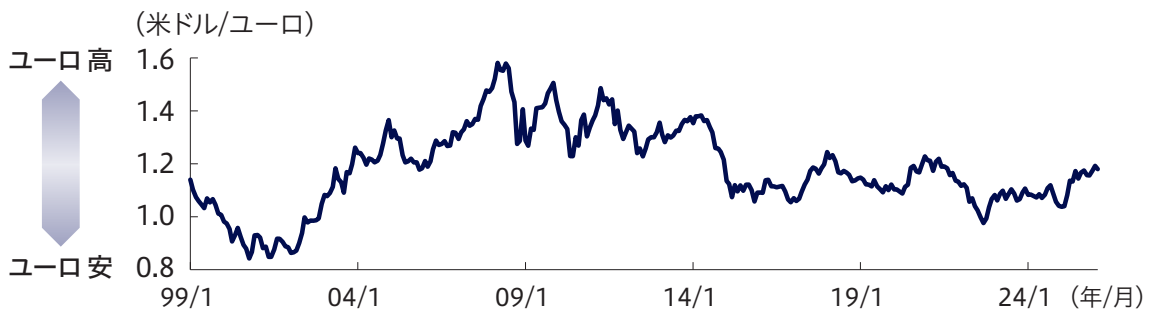
期間：2000年12月末～2026年2月末、月次

リスクは月間変化率の標準偏差を年率換算しています。標準偏差とは、平均収益率からどの程度乖離するか、リターンの振れ幅を示す数値です。使用指数については、17ページをご参照ください。

(出所) FactSet、ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

### ユーロ(対米ドル)の推移

■ 1999年のユーロ導入以来、時代ごとの金融政策、政治・経済情勢によって値動きは大きく変化してきました。2023年頃から、ユーロ高・米ドル安傾向が見られます。



期間：1999年1月末～2026年2月末、月次

(出所) ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

## “欧州ハイ・イールド債券”

それは、限られた投資家が活用してきた、  
株式投資のみでは捉えきれない、一步先の投資機会。  
私たち運用チームは、グローバルな知見を活かし、  
厳選した欧州ハイ・イールド債券への投資に加え、  
周辺市場にも機動的に投資することで、  
収益機会の拡大を追求しています。

シュローダー運用チーム一同

## ファンドのポイント

1

主として欧州ハイ・イールド債券に投資

2

シュローダーの充実した運用調査体制を活用し、  
長期にわたり優れた運用実績を誇る運用戦略

3

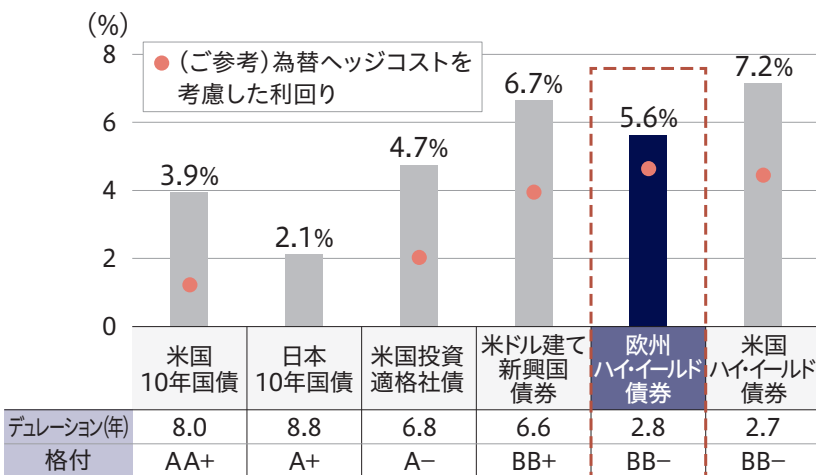
欧州ハイ・イールド債券市場から銘柄を厳選、  
幅広い投資対象からも収益機会を発掘

# 主として欧州ハイ・イールド債券に投資

## 魅力的な利回り

- ハイ・イールド債券は、信用リスク等が高い分、金利の上乗せがあり、一般的に高い利回りとなっています。
- 欧州ハイ・イールド債券は下記の通り、相対的にデュレーションが短いです。また、為替ヘッジコストを考慮した利回りで見ると、米国ハイ・イールド債券より高い利回りになっています。

— 利回り比較(現地通貨ベース) —



— 為替ヘッジコスト※ —

米ドル	2.7%
ユーロ	1.0%

※〔対象通貨の短期金利〕-〔円の短期金利〕  
2026年2月末時点  
為替ヘッジコストは、各取引通貨の短期金利差を用いた簡便法による試算です。実際の為替ヘッジコストの値とは異なります。

使用した金利・指数については、17ページをご参照ください。

2026年2月末時点

デュレーション:金利の変化に対して債券価格がどの程度変化するかを測るための指標です。デュレーションが短いほど、債券価格は金利変動に対して小さく反応します(金利感応度が低い)。

格付はブルームバーグおよびJPモルガンによる。

「(ご参考)為替ヘッジコストを考慮した利回り」は各資産の利回りから各通貨の為替ヘッジコストを差し引いて算出。

(出所)ブルームバーグのデータ等を基に野村アセットマネジメント作成

## 〈ご参考〉ハイ・イールド債券とは

ハイ + イールド + ボンド  
(High=高い) (Yield=利回り) (Bond=債券)

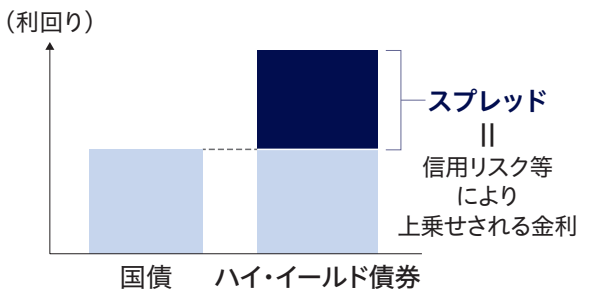


ハイ・イールド債券  
(高利回り債券)

### — ハイ・イールド債券の特徴 —

**相対的に高い利回り**  
信用リスク等が高い分、金利の上乗せがあり、一般的に高い利回りとなっています。

**相対的に高い信用リスク**  
投資適格格付の債券に比べて、債券の利子や元本の支払いが定められた契約どおりに履行されないなどのリスクが高くなります。



格付とは、債券の信用力(=債務履行能力)などに応じて等級(ランク)付けすることです。

#### ●代表的な格付の例

AAA	投資適格格付
AA	
A	
BBB	
BB	投資適格未満 (ハイ・イールド債券)
B	
CCC	
CC	
C	
D	

上記はイメージであり、すべての債券にあてはまるとは限りません。

当資料での格付表記はS&P社を基にしています。

## 欧州ハイ・イールド債券とは

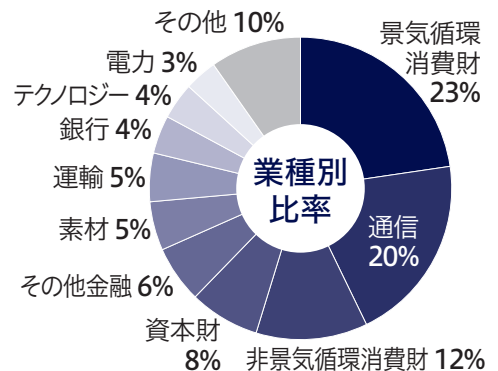
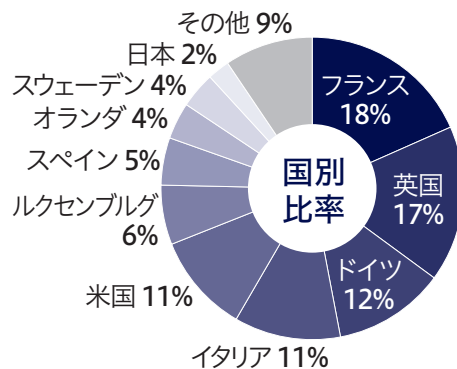
欧州を中心として世界各国の企業が発行するユーロ建ての投資適格未満（ハイ・イールド）の債券のことです。

### 投資適格未満のなかで格付上位のBB格の比率が高く、国・業種ともに多様性に富むのが特徴

- 欧州ハイ・イールド債券は、BB格が6割以上を占めています。
- 国別や業種別比率を見ても、特定の国や業種への偏りがなく、多様性に富んでいる点が特徴です。
- 発行体企業には、自動車メーカーや航空会社など、日本においてもなじみのある企業が多く存在しています。

#### — 格付別比率 —

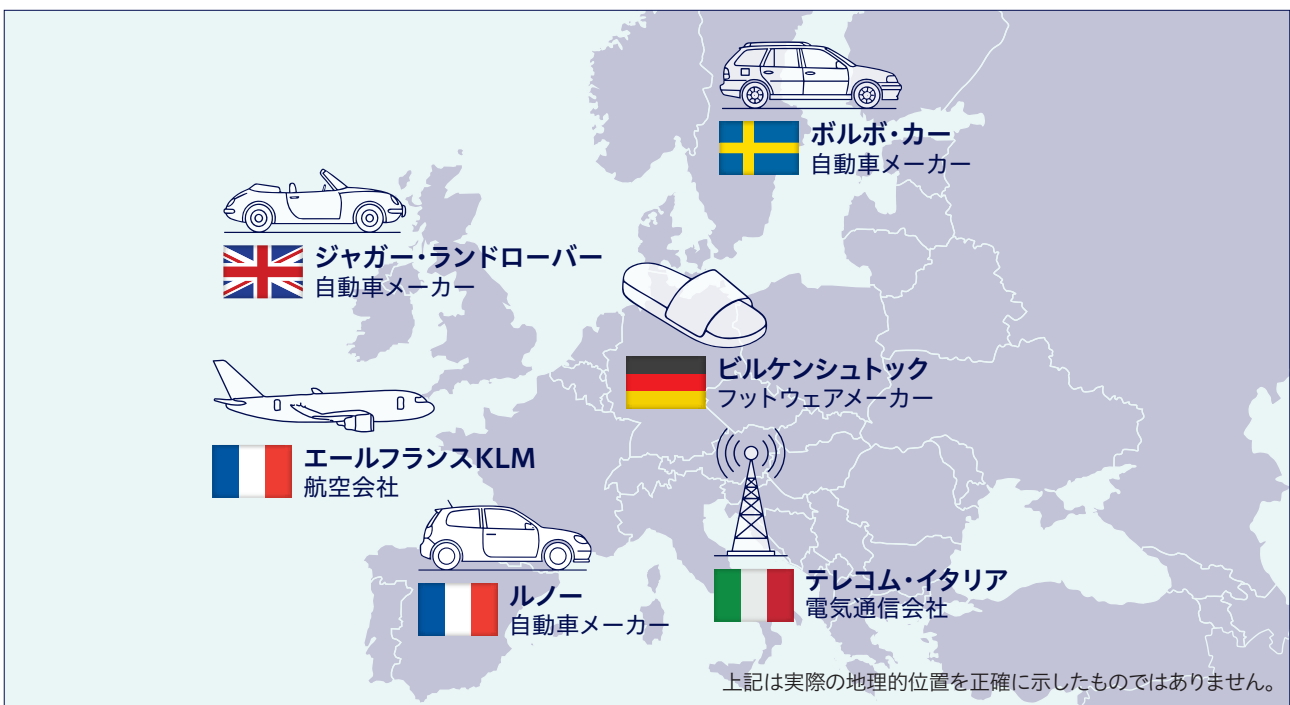
BB	63%
B	30%
CCC以下	6%



2026年2月末時点

欧州ハイ・イールド債券指数の比率、時価総額ベース。 使用指数については、17ページをご参照ください。  
格付、国、業種の分類はブルームバーグによります。 四捨五入により合計が100%とならない場合があります。

#### — 欧州ハイ・イールド債券の代表的な発行体企業 —



上記は欧州ハイ・イールド債券を発行する代表的な企業例です。債券の格付は発行体格付と同一とは限りません。

2026年2月末時点

(出所)ブルームバーグのデータ等を基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

上記は欧州ハイ・イールド債券の説明を目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。 6

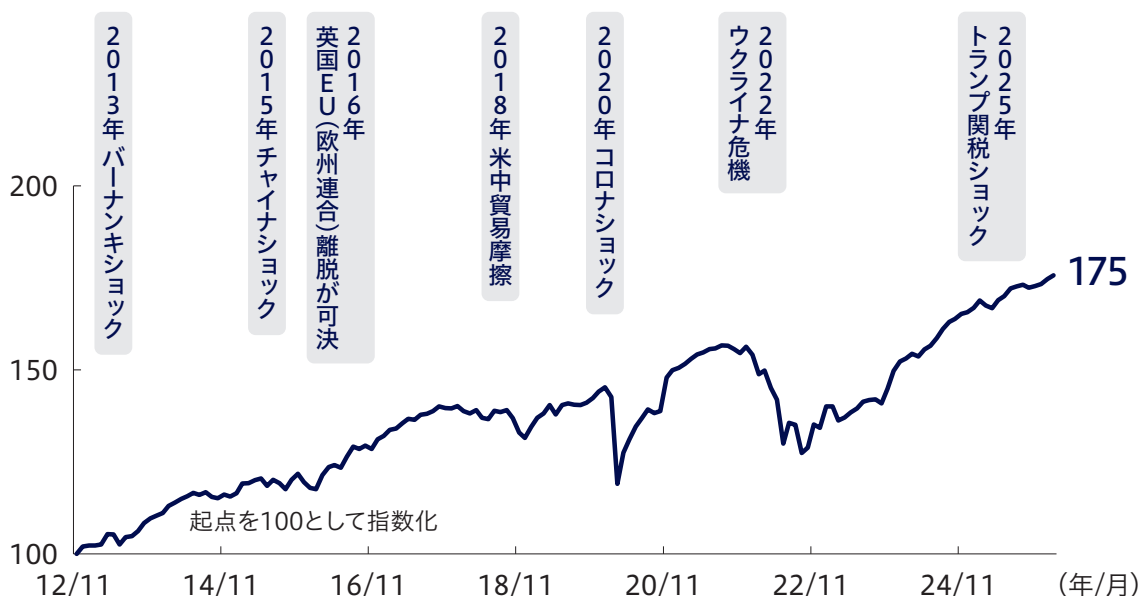
# シュローダーの充実した運用調査体制を活用し、長期にわたり優れた運用実績を誇る運用戦略

## ■ 良好なパフォーマンスを実現

当戦略は、当ファンドが投資対象とする外国投資法人「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドユーロ・ハイ・イールド」(Zディストリビューション 円ヘッジシェアクラス/円シェアクラス)が用いる運用戦略を指します。下記は、当戦略を用いる「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンドユーロ・ハイ・イールド」(2012年11月14日設定)のパフォーマンスを表しており、ファンドと同様の運用管理費用(実質的な信託報酬相当分(年1.473%))を控除しています。当ファンドの運用実績ではありません。あくまでご参考としてご理解ください。

■ 当戦略は2012年11月以降、様々な局面を乗り越え、良好なパフォーマンスを実現してきました。

### — 当戦略のパフォーマンス(ユーロベース) —

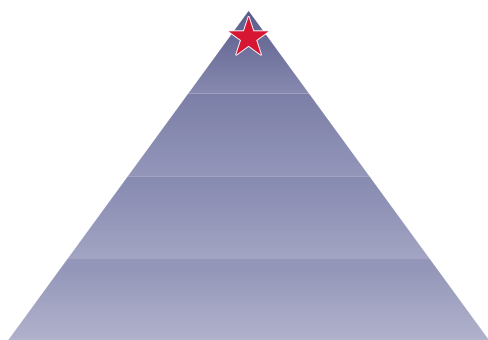


期間: 2012年11月末～2026年2月末、月次

ユーロ建て以外の資産に投資を行なった場合は、原則として当該資産にかかる通貨を売り、ユーロを買う為替取引を行ないます。

■ 当戦略は同一カテゴリにおいて、上位6%程度と相対的に優れたリターンを実現しました。

### 同一カテゴリ内における当戦略の実績



モーニングスター  
同一カテゴリ内  
**457**本中 **上位6%**程度  
当戦略の順位  
(10年、年率リターン)

・モーニングスターカテゴリ  
「EAA Fund EUR High Yield Bond」

2026年2月末時点

(出所)シュローダーおよびMorningstar Directのデータを基に野村アセットマネジメント作成  
Morningstar Directについては、17ページをご参照ください。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

また、**ファンドの運用実績ではありません。**ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。



## ■ 長い歴史と実績を誇るシュローダーの債券運用チームが運用

- シュローダーは世界最大級の欧州ハイ・イールド債券運用戦略の運用資産残高を誇り、長い歴史と実績を有する英国屈指の資産運用グループです。上場資産から未上場資産にわたる幅広い投資機会を提供しています。
- 強固な運用調査体制に基づくアクティブ運用を強みとし、投資家の長期的な資産形成をサポートします。



※8,237億英ポンド(1英ポンド=210.83円(2025年12月末時点)で換算)

- 当戦略はグローバルに展開する債券運用プラットフォームを活用し、経験豊富で実績ある運用チームがファンドを運用します。
- シュローダーの様々なチームの知見をもとにしたマクロ経済分析を活用します。

### 欧州ハイ・イールド債券の運用チーム

ポートフォリオ・マネジャー 5名  
平均経験年数 23年

40名を超えるクレジットアナリストをはじめとする  
シュローダーの充実した調査体制により収益機会を発掘します



2025年12月末時点  
(出所)シュローダーの提供情報を基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

# 欧州ハイ・イールド債券市場から銘柄を厳選、幅広い投資対象からも収益機会を発掘

■ 徹底した調査・分析を基に、欧州ハイ・イールド債券を厳選し、加えて、国債や投資適格社債など周辺市場からも投資機会を発掘

■ 当戦略は、欧州ハイ・イールド債券の各発行体について徹底した調査を実施し、魅力的な投資機会を発掘し、確信度の高いポートフォリオを構築します。

■ 欧州ハイ・イールド債券に加え、国債や投資適格社債など周辺市場にも着目します。

■ 銘柄を選別する上では、業種や発行体企業を取り巻く環境の急な変化による投資機会も的確に捉え、更なる超過収益の獲得を目指します。

## 中核となる 収益機会の発掘

欧州ハイ・イールド債券市場の中から、徹底した分析を経て銘柄を厳選。加えて環境の急激な変化にも着目し高水準のトータルリターンを獲得を目指す。

国債

投資適格社債

欧州ハイ・イールド  
債券

CDS\*

その他  
債券など

## 更なる 収益機会の追求

欧州ハイ・イールド債券以外の資産へも投資することで、柔軟な運用を行ない、また機動的なポートフォリオの構築を行なうことで、リスク調整後のパフォーマンス向上を目指す。

上記はイメージ図です。

※クレジット・デフォルト・スワップのことで、クレジット・デリバティブの一種。対象となる企業が破綻し金融債権や社債などの支払いができなくなった場合、CDSの買い手は金利や元本に相当する支払いを受け取る。



## 発行体企業の例

### 中核となる収益機会の発掘 (欧州ハイ・イールド債券の例)

#### 技術力で底堅さを見せる老舗企業 **セラムテック**(ドイツ)

高性能セラミックの大手メーカー。1903年創業で、100年以上にわたる開発・生産における専門性を誇る。10,000種類を超える製品を生産。非上場企業。

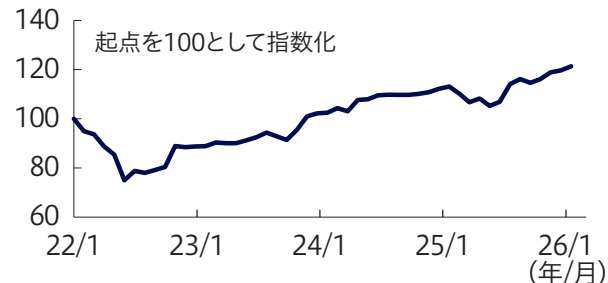


写真はイメージです。

#### ◆ シュローダーの視点

- 市場では、素材メーカーと捉えられ景気循環の影響を受けやすい企業との見方から、割安な水準で取引され、魅力的な利回り水準であることに着目。
- 運用チームは、主力製品の中でも医療分野における人工関節用素材は、圧倒的な競争優位性を有し、景気循環の影響を受けにくいと判断。
- 見込まれる企業価値に対して、同社の負債は適切な水準と判断し投資を実行。

#### ● 債券のパフォーマンス推移



累積利払い、経過利子を含むトータルリターンベース(ユーロ)  
債券:クーポン5.25% 2030年2月15日満期  
期間:2022年1月末～2026年2月末、月次

### 更なる収益機会の追求 (投資適格社債の例)

#### 世界を代表する風力発電企業 **ベスタス**(デンマーク)

陸上・洋上風力発電機の販売・設置や、稼働中の風力発電機の運営・メンテナンスを行なう。

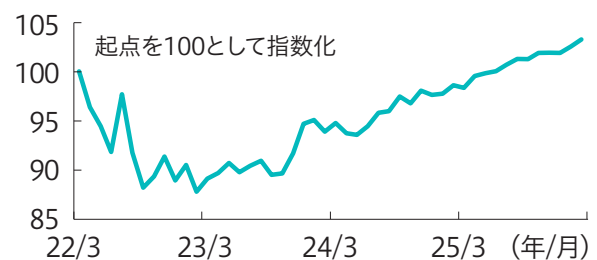


写真はイメージです。

#### ◆ シュローダーの視点

- インフレによる資材コストの上昇圧力が強まる中、コスト管理の徹底を行っており、長期的には収益性の回復が見込めるとして割安と判断し投資を実行。
- 欧州地域でのエネルギー自律に向けた取り組み強化も追い風になるとみて保有を継続。
- 2026年3月に日本の経済産業省と風力発電設備製造拠点設立に関する協力覚書を交わし、日本国内での工場設立に向けて動きを開始。

#### ● 債券のパフォーマンス推移



累積利払い、経過利子を含むトータルリターンベース(ユーロ)  
債券:クーポン1.5% 2029年6月15日満期  
期間:2022年3月末～2026年2月末、月次

(出所)シュローダーの提供情報、ブルームバークのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は当戦略が着目する収益機会の例の紹介を目的としており、実際に当該銘柄に投資を行なうことを保証するものではありません。  
また、特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。  
上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 参考ファンドの資産内容(2026年2月末現在)

下記は、当ファンドが投資対象とする外国投資法人と同じ運用戦略を用いる「シュローダー・インターナショナル・セレクト・ファン ド・ユーロ・ハイ・イールド」(2012年11月14日設定)の資産内容です。資産内容等は運用担当者の判断、市況動向、ファンドの資金動向等により変わります。

### ●組入上位10銘柄

銘柄名	格付	業種	国・地域	純資産比	銘柄概要
ドイツ国債 BUNDESOBLIGATION	AAA	—	ドイツ	2.0%	各国政府が発行する国債。 <シュローダーの視点> 債券市場全体のバリュエーションを踏まえ、ポートフォリオ全体の安定性を高める守りの資産として位置づけるとともに、市場環境の変化に応じた投資機会も期待して保有。
イタリア国債 BUONI POLIENNALI DEL TES	BBB	—	イタリア	1.7%	
スペイン国債 BONOS Y OBLIG DEL ESTADO	A	—	スペイン	1.5%	
デバファーマスーティカル TEVA PHARM FNC NL II	BB	ヘルス ケア	イスラエル	1.3%	1901年創業、世界最大のジェネリック医薬品メーカー。 <シュローダーの視点> ジェネリック中心で研究開発費や設備投資が抑えられ、高いキャッシュ創出力を有することに加え、負債削減を重視していることから、信用力の改善が期待される。
アプライド・デジタル APLD COMPUTECO LLC	BB	通信	米国	1.2%	次世代デジタルインフラの設計、開発を行なう。高性能コンピューティング(HPC)や人工知能(AI)業界向けにサービスを提供。 <シュローダーの視点> IT企業大手など向けにリース事業を展開している点や割安である点を総合的に評価した上で、投資妙味が高いと判断。
セルサ CELSA OPCO SA	B	基礎 産業	スペイン	1.1%	鉄鋼メーカー。鉄鋼製品の製造過程で発生する端材を電気炉でリサイクルし、持続可能で二酸化炭素排出量の少ない鋼材(鉄筋、形鋼、線材等)を製造。 <シュローダーの視点> リストラなどを通じて債務削減が進み、市場の評価が改善。世界的な過剰生産を背景とする安価な輸入品を抑制するEUの貿易障壁は、鉄鋼セクターに恩恵をもたらすと予想。
ケドリオン KEDRION SPA	B	ヘルス ケア	イタリア	1.1%	血漿由来の医薬品を製造・販売するバイオ医薬品メーカー。凝固障害、神経疾患、免疫不全症等希少疾患の治療・予防に取り組む。 <シュローダーの視点> 血漿および治療薬事業の業績改善が進行し、直近では大幅な増益と成長を達成。成長投資後も利払い余力は確保され、負債の縮小が見込めることから価値創出が見込まれる。
オルガノン ORGANON & CO/ORG	BB	ヘルス ケア	米国	1.0%	生殖医療、心臓病、皮膚科、アレルギー等の医薬品の開発・製造を行なう製薬会社。 <シュローダーの視点> バイオシミラー事業(後発バイオ医薬品事業)の改善を前向きに評価。安定したキャッシュフローにより債務返済余力は十分あると考える。
ドイツ国債 BUNDESREPUB. DEUTSCHLAND	AAA	—	ドイツ	1.0%	各国政府が発行する国債。 <シュローダーの視点> 債券市場全体のバリュエーションを踏まえ、ポートフォリオ全体の安定性を高める守りの資産として位置づけるとともに、市場環境の変化に応じた投資機会も期待して保有。
ポルトガル国債 OBRIGACOES DO TESOURO	A	—	ポルトガル	1.0%	

格付はS&P社、ムーディーズ社、フィッチ社による格付の平均を使用。

業種、国・地域はシュローダーの分類による。

(出所)シュローダーの提供情報、ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメント作成

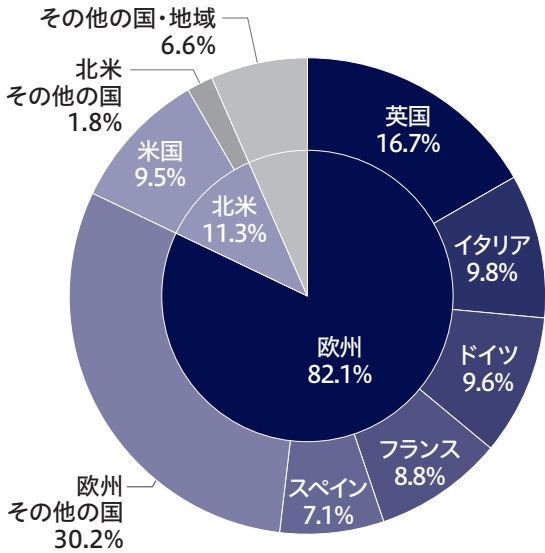
上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

また、実際に当該銘柄に投資を行なうことを保証するものではありません。

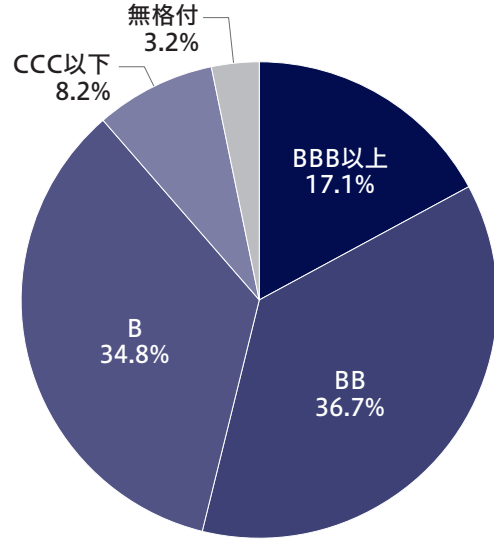
特定銘柄の売買などの推奨、また価格などの上昇や下落を示唆するものではありません。



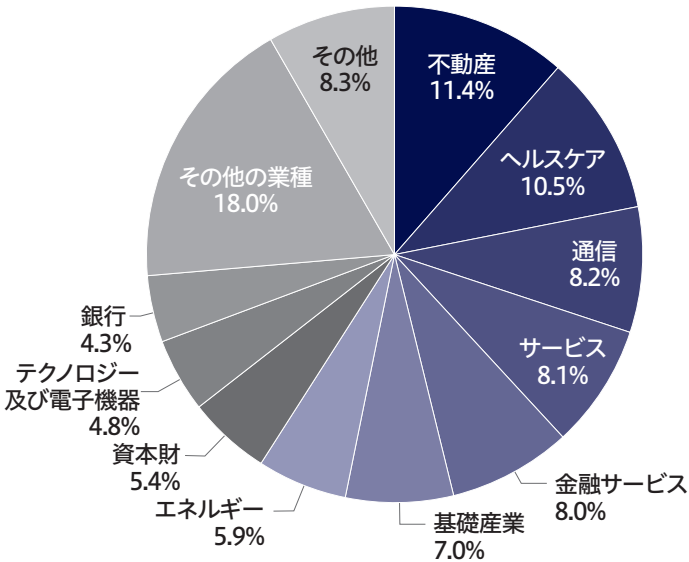
### ●国・地域別配分



### ●格付別配分



### ●業種別配分



### ●ポートフォリオ特性値

平均最終利回り	6.7%
平均デュレーション	2.9年
平均格付	BB-
組入銘柄数	291

国・地域別配分、格付別配分、業種別配分は現金等を除いて算出。

国・地域、業種はシュローダーの分類による。

業種別配分のその他は国債、政府関連債など。

格付はS&P社、ムーディーズ社、フィッチ社による格付の平均を使用。

ポートフォリオ特性値は、参考ファンドの組入債券等の各特性値(最終利回り、デュレーション)を、その組入比率で加重平均したものの。現地通貨建て。また格付の場合は、債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。

デュレーション:金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。

平均格付とは、基準日時時点で参考ファンドが保有する有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該参考ファンドに係る信用格付ではありません。

四捨五入により合計が100%とならない場合があります。

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## ■ 当戦略のパフォーマンス(試算、円ベース)



期間:2012年11月末~2026年2月末、月次

上記は、当戦略を用いる「シュロダー・インターナショナル・セクション・ファンド ユーロ・ハイ・イールド」のパフォーマンスを基に円換算した試算値です。当ファンドの運用実績ではありません。あくまでご参考としてご理解ください。ファンドと同様の運用管理費用(実質的な信託報酬相当分(年1.473%))を控除しています。為替ヘッジコストは簡便法による試算値を使用しており、実際の為替ヘッジコストとは異なります。

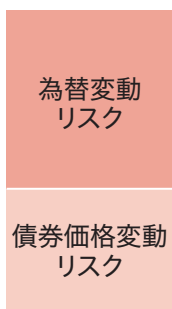
(出所)シュロダーのデータを基に野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。  
また、ファンドの運用実績ではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

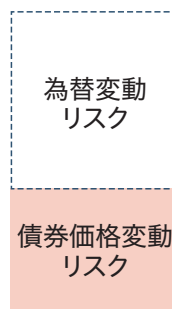
## ■ 為替ヘッジについて

- ファンドは、「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2種類からお選びいただけます。
- ユーロ建て債券への投資には、為替変動リスクがありますが、為替ヘッジを行なうことで為替変動の影響を低減できます。ただし、為替ヘッジには為替ヘッジコスト(通貨間の金利差)がかかります。

為替ヘッジなし

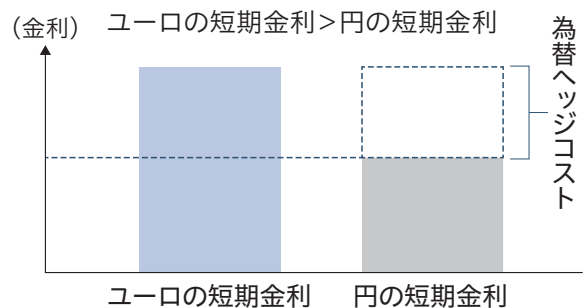


為替ヘッジあり



為替ヘッジ効果

為替ヘッジコストのイメージ



$$\text{為替ヘッジコスト} \equiv (\text{ユーロの短期金利}) - (\text{円の短期金利})$$

上記はイメージ図であり、すべての外貨建資産にあてはまるものではありません。また、投資リスクのすべてを説明しているわけではありません。

「為替ヘッジあり」は、組入外貨建資産について、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本としますが、為替変動リスクを完全に排除できるわけではありません。

上記はイメージ図であり、為替ヘッジコストの決定要因は上記に限定されるものではありません。為替ヘッジコストがマイナスの場合(円の短期金利がユーロの短期金利より高い場合)、為替ヘッジプレミアムが発生します。また、上記は取引通貨の短期金利差を用いた簡便法によるイメージであり、実際の為替ヘッジコストとは異なります。

# ファンドの特色

**1** 世界各国の企業が発行するユーロ建ての投資適格未満(ハイ・イールド)の固定利付債券および変動利付債券を実質的な主要投資対象<sup>※1</sup>とし、高水準のインカムゲインの獲得と中長期的な信託財産の成長を目的として運用を行ないます。

※1 「実質的な主要投資対象」とは、外国投資法人や「野村マネーポートフォリオ マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。

**2** ファンドは投資する外国投資法人において、為替ヘッジを行なう「為替ヘッジあり」と為替ヘッジを行わない「為替ヘッジなし」から構成されており、それぞれ「年1回決算型」と「年4回決算型」があります。

●各々以下の外国投資法人である「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・ハイ・イールド IZディストリビューション」および国内投資信託「野村マネーポートフォリオ マザーファンド」を投資対象とします。

ファンド名	投資対象とする外国投資法人の円建ての外国投資証券
(為替ヘッジあり) 年1回決算型/年4回決算型	シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・ハイ・イールド IZディストリビューション 円ヘッジシェアクラス
(為替ヘッジなし) 年1回決算型/年4回決算型	シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・ハイ・イールド IZディストリビューション 円シェアクラス

- ・「年1回決算型」は、原則、毎年10月19日<sup>※2</sup>(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。
- ・「年4回決算型」は、原則、毎年1月、4月、7月および10月の19日<sup>※2</sup>(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案し、委託会社が決定します。

※2 初回は2026年10月19日となります。

\*分配金は投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

●通常の状態においては、「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・ハイ・イールド IZディストリビューション」への投資を中心とします<sup>※3</sup>が、投資比率には特に制限は設けず、各証券の収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定します。

※3 通常の状態においては、「シュローダー・インターナショナル・セレクション・ファンド ユーロ・ハイ・イールド IZディストリビューション」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。

## ファンドが投資対象とする外国投資法人の主な投資方針

- 世界各国の企業が発行するユーロ建ての投資適格未満(ハイ・イールド)の固定利付債券および変動利付債券に投資することによって、中長期的に運用資産の成長とインカムゲインの獲得を目指します。
  - ・運用資産の成長とインカムゲインの獲得を保证するものではありません。
  - ・欧州委員会が制定した指令(UCITS指令)に準拠して分散投資を行ないます。
- ファンドはアクティブに運用され、世界各国の政府、政府機関、国際機関および企業が発行するユーロ建ての固定利付債券・変動利付債券への投資割合は資産の3分の2以上とします。
- 投資適格未満の固定利付債券・変動利付債券(S&P グローバル・レーティングによる格付あるいは他社同等格付が投資適格未満の債券)への投資割合(直接またはクレジットデフォルトスワップおよび同指数を含む間接的な投資割合)は資産の3分の2以上とします。
- ユーロ建て以外の資産に投資を行なった場合は、原則として当該資産にかかる通貨を売り、ユーロを買う為替取引を行ないます。

**3** 「為替ヘッジあり」の各ファンドおよび「為替ヘッジなし」の各ファンド、それぞれのファンド間でスイッチングが可能です。

\*販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

# 投資リスク①

## 当ファンドの投資リスク ファンドのリスクは下記に限定されません。

各ファンドは、外国投資証券等への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を持しますので、金利変動等による当該債券等の価格下落や、当該債券等の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

◀基準価額の変動要因▶ 基準価額の変動要因は下記に限定されるものではありません。

### ◆債券価格変動リスク

- ・債券(公社債等)は、市場金利や信用度の変動により価格が変動します。ファンドは実質的に債券に投資を行なわず、これらの影響を受けます。特にファンドが実質的に投資を行なうハイ・イールド債券等の格付けの低い債券については、格付けの高い債券に比べ、価格が大きく変動する可能性や組入債券の元利金の支払遅延および支払不履行などが生じるリスクが高いと想定されます。
- ・ファンドは、実質的に企業の信用リスクを対象としたデリバティブ取引等を活用しますので、参照企業の信用度の変動による当該デリバティブ取引等の価格変動の影響を受けます。
- ・ファンドの実質的な投資対象に含まれるハイブリッド証券については、一般に、繰上償還条項が設定されているため、発行体の企業業績、市況動向、制度変更等の事情により、価格が大きく変動する可能性が高いと想定されます。

ハイブリッド証券の中でも、CoCo債は発行体が実質破綻状態にあると規制当局が判断した場合や、自己資本比率が基準値を下回るなどの事象が発生した場合には、元本の一部もしくはすべてが削減される、または強制的に発行体の普通株式に転換されるリスクがあります。元本の一部もしくはすべてが削減される場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。普通株式に転換される場合、転換後の株式の価格は元本を大きく下回る可能性があり、ファンドの基準価額が下落する要因となります。ファンドは実質的にCoCo債に投資を行なう場合があり、これらの影響を受けます。また、普通株式に転換された場合には、株価変動リスクを負うこととなります。

### ◆為替変動リスク

各ファンドの為替変動リスクは以下の通りです。

- ・為替ヘッジなし  
投資対象である外国投資証券の組入資産(ユーロベース)※について、原則として対円で為替ヘッジを行ないませんので、ユーロの対円での為替変動の影響を受けます。  
※ユーロ建て以外の資産に投資を行ない、当該資産にかかる通貨売り、ユーロ買いの為替取引を行なった場合も含まれます。  
また、ユーロ建て以外の資産に投資を行なった場合は、原則として当該資産にかかる通貨を売り、ユーロを買う為替取引を行ないませんが、当該資産の額と当該資産にかかる通貨の売りの額は必ずしも一致しないため、当該資産にかかる通貨の対円での為替変動の影響を受ける場合もあります。
- ・為替ヘッジあり  
投資対象である外国投資証券の組入資産について、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。ただし、完全にヘッジすることは出来ませんので、当該組入資産にかかる通貨の対円での為替変動の影響を受ける場合があります。  
また、円金利が組入資産の通貨の金利より低い場合、為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)がかかるため、基準価額の変動要因となります。

## 投資リスク②

### 《その他の留意点》

- ◆ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止等となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。
- 資金動向、市況動向等によっては、また、不慮の出来事等が起きた場合には、投資方針に沿った運用ができない場合があります。
- ファンドが実質的に組み入れる有価証券の発行体において、利払いや償還金の支払いが遅延する可能性があります。
- 有価証券への投資等ファンドにかかる取引にあたっては、取引の相手方の倒産等により契約が不履行になる可能性があります。
- 各ファンドが各々投資対象とする外国投資証券が存続しないこととなる場合は、当該ファンドを繰上償還させます。
- 投資対象とする外国投資法人においては、当該外国投資法人全体で一定規模以上の純資金流入が生じた場合、当該流入に伴う組入有価証券の売買にかかるコスト等を反映させるため、純資産価格の計算において一定の調整(価格の増減)が行なわれる場合があります。その場合、ファンドの基準価額は、かかる一定の調整が行なわれた純資産価格を用いて計算されますので、ファンドの基準価額も影響を受けます。
- 投資対象とするマザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動等に伴う売買等が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。
- 金融商品取引所等における取引の停止(個別銘柄の売買停止等を含みます。)、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情(実質的な投資対象市場の急変時や流動性の極端な減少等)があるときは、投資信託約款の規定に従い、委託会社の判断でファンドの購入(スイッチングによる購入を含みます。)・換金の各受け付けを中止すること、および既に受け付けた購入(スイッチングによる購入を含みます。)・換金の各受け付けを取り消す場合があります。
- ハイブリッド証券の弁済順位は、一般的に株式に優位し普通社債に劣後するため、発行体の破綻時における弁済順位が普通社債等優先される債務に対して後順位となります。ハイブリッド証券の中でも、CoCo債の元本が削減される場合には、法的弁済順位に関わらず普通株式よりも先に損失を負担することがあります。
- ハイブリッド証券には、設定された繰上償還が実施されなかった場合に利息や配当が変動になる性質を持つもの等があり、ファンドはそれらにも投資を行いません。
- 今後、ハイブリッド市場において制度変更や新たな規制の導入がある場合には、対象市場が著しく縮小する可能性があります。上記のような投資環境変化の内容によっては、ファンドでの新規投資の中止や大幅な縮小をする場合があります。
- 店頭デリバティブ取引等の金融取引に関して、国際的に規制の強化が行なわれており、ファンドが実質的に活用する当該金融取引が当該規制強化等の影響を受け、当該金融取引を行なうための担保として現金等を提供する必要がある場合があります。その場合、追加的に現金等を保有するため、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

## 当資料で使用した金利・指数について

### 【各通貨の短期金利】

円:1ヵ月TIBOR、米ドル: CMEターム物SOFR1ヵ月物、ユーロ:1ヵ月EURIBOR

### 【指数】

〈1ページ〉

世界の株式:MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス、米国: MSCI 米国インデックス、欧州: MSCI ヨーロッパインデックス

世界の債券:ブルームバーグ・グローバル総合・インデックス、米国:ブルームバーグ・米国総合・インデックス、欧州:ブルームバーグ・汎欧州総合・インデックス

〈3ページ以降〉

- 米国10年国債、日本10年国債:ブルームバーグ・ジェネリック10年国債
- 米国投資適格社債:ブルームバーグ・米国投資適格社債・インデックス
- 欧州ハイ・イールド債券:ブルームバーグ・汎欧州ハイ・イールド社債・インデックス
- 米ドル建て新興国債券:JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバースファイド
- 米国ハイ・イールド債券:ブルームバーグ・米国ハイ・イールド社債・インデックス
- 世界株式:MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み)
- 欧州債券:ブルームバーグ・汎欧州総合・インデックス
- 欧州株式:STOXX欧州600指数(配当込み)
- 米国債券:ブルームバーグ・米国総合・インデックス
- 米国株式:S&P500株価指数(配当込み)
- 国内債券:NOMURA-BPI総合
- 国内株式:東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

●「Bloomberg®」は、Bloomberg Finance L.P.および、同インデックスの管理者であるBloomberg Index Services Limitedをはじめとする関連会社(以下、総称して「ブルームバーグ」)の商標およびサービスマークです。ブルームバーグまたはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

●NOMURA-BPI総合の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバースファイドは、J.P.Morgan Securities LLCが公表しているインデックスであり、その著作権および知的財産権は同社に帰属します。

●MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス、MSCI ヨーロッパインデックス、MSCI 米国インデックスはMSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、MSCIは同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●S&P500株価指数は、スタンダード&プアーズ ファイナンシャル サービスズ エル エル シーの所有する登録商標です。

●STOXX®欧州600指数は、STOXXリミテッド(スイス、ツーク)、ドイツ取引所グループ又は同社のライセンサーの知的財産(商標登録を含みます)であり、ライセンスの下で使用されます。

●東証株価指数(TOPIX)の指数値及び東証株価指数(TOPIX)に係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社(以下「JPX」という。)の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数(TOPIX)に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数(TOPIX)に係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、東証株価指数(TOPIX)の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

## Morningstar Directについて

©2026 Morningstar. All Rights Reserved. ここに含まれる情報、データ、分析及び意見は、(1) Morningstar、その関連会社及び/またはコンテンツ提供者の機密情報且つ専有情報を含むものであり、(2)複製または再配布してはならず、(3)Morningstarによる投資助言を構成するものではなく、(4)専ら情報提供を目的として提供されるもので、そのため、証券の購入や売却を提案するものではなく、(5)完全性、正確性又は適時性を保証するものではありません。過去の実績は将来の結果を保証するものではありません。Morningstar、その関連会社及び/またはコンテンツ提供者のいずれも、この情報、データ、分析あるいは意見又はこれらの利用もしくは配布から生ずる、又はこれらに関連するいかなる取引の決定、損害またはその他の損失について責任を負いません。

## 当資料について

当資料は、ファンドのご紹介を目的として野村アセットマネジメントが作成した販売用資料です。当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載内容、数値、図表等については、当資料作成時のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

## お申込みに際してのご留意事項

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。



# お申込みメモ

●信託期間	2036年10月20日まで(2026年6月12日設定)
●決算日および収益分配	<p>【年1回決算型】 年1回の毎決算時(原則、毎年10月19日(休業日の場合は翌営業日))に、分配の方針に基づき分配します。</p> <p>【年4回決算型】 年4回の毎決算時(原則、毎年1月、4月、7月および10月の19日(休業日の場合は翌営業日))に、分配の方針に基づき分配します。 *初回決算日は2026年10月19日となります。</p>
ご購入時	<当初申込期間(2026年5月25日～2026年6月11日)>
	●ご購入価額 1万円=1万円
	*ご購入代金は2026年6月11日までに販売会社にお支払いいただきます。
	<設定日(2026年6月12日)以降>
	●ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
ご換金時	●ご購入代金 販売会社の定める期日までにお支払いください。
	●ご購入単位 ご購入単位は販売会社によって異なります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
	●ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額
その他	●ご換金代金 原則、ご換金申込日から起算して7営業日目から販売会社でお支払いします。
	●ご換金制限 大口換金には制限を設ける場合があります。
	●スイッチング 「為替ヘッジあり」の各ファンドおよび「為替ヘッジなし」の各ファンド、それぞれのファンド間でスイッチングが可能です。 *販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
●お申込不可日 販売会社の営業日であっても、お申込日当日が以下のいずれかに該当する場合には、原則、ご購入、ご換金、スイッチングの各お申込みができません。 ・復活祭(イースター)の直前の金曜日(グッドフライデー)・復活祭(イースター)直後の月曜日(イースターマンデー) ・メーデー(5月1日) ・クリスマスイブ(12月24日) ・クリスマスデー(12月25日) ・クリスマスデーの翌日(12月26日) ・主要投資対象とする外国投資法人の外国投資証券において、投資配分比率が高い市場の休日や休場で、取得、換金の申込みの受け付けを行わないものとして外国投資法人の管理会社が指定する日	
課税関係	個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ファンドはNISA(少額投資非課税制度)の対象ではありません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※お申込みの際には投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。

## 当ファンドに係る費用

(2026年5月現在)

●ご購入時手数料	ご購入価額に <b>3.3%(税抜3.0%)以内</b> で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 <スイッチング時> 販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない場合があります。
●運用管理費用(信託報酬)	ファンドの保有期間中に、期間に応じてかかります。 ・純資産総額に年0.935%(税抜年0.85%)の率を乗じて得た額 ・実質的にご負担いただく信託報酬率(信託報酬に、ファンドが投資対象とする外国投資証券の信託報酬を加えた概算値): <b>年1.473%程度(税込)</b>
●その他の費用・手数料	ファンドの保有期間中に、その都度かかります。(運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。) ・組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料 ・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 ・ファンドに関する租税 等
●信託財産留保額(ご換金時、スイッチングを含む)	ありません。

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

販売会社によっては、一部のファンドのみのお取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

(委託会社)野村アセットマネジメント株式会社[ファンドの運用の指図を行なう者] (受託会社)三菱UFJ信託銀行株式会社[ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

●サポートダイヤル ☎.0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>

